



新春特別企画

元気をプレゼント

葛飾だ!

◆2・3面

新春インタビュー／千代大龍秀政さん(大相撲力士)・森谷史佳さん(バレーボール選手)・武井社さん(タレント)

◆4面

葛飾区名誉区民のご紹介

新春対談

平成25年3月、漫画『キャプテン翼』主人公「大空翼」の像が四つ木に誕生。その『キャプテン翼』作者の高橋陽一さんをお迎えしました。

対談の様様を放送します



©高橋陽一・集英社

区長 先生に喜んでもらえてうれしく思います。大空翼像の設置については、地元四つ木の皆さんの期待がものすごく大きくて、本当に実現できて良かったと思っています。

高橋 完成する前から「銅像ができ

四つ木から立石へ「翼ロード」の誕生!?



高橋 僕の生まれ育った四つ木に銅像を建てていただいていたことにありがたく思っています。大先輩の秋本先生の『こち亀』の両さん像のように、翼像を作ってほしいなという気持ちがあったのですが、『キャプテン翼』は架空の街、南葛市が舞台でしたので、葛飾区に設置は無理なのかなと諦めていました。

区長 『キャプテン翼』はヨーロッパでも人気があるということは聞いていました。海外メディアが四つ木の翼像を取材するという話を聞いた時には、正直びっくりしました。『キャプテン翼』のキャラクター像は、さらに四つ木と立石の地域に7体設置することが決まりました。区民の方、それ以外の方もみな楽しみにしていると思います。



葛飾区長 青木 克徳

漫画家 たかはし 陽一さん

高橋 最初は翼像1体だけだったのですが、仲間が増えたらいいなと思っていました。四つ木から立石に続く道が「翼ロード」と呼ばれるようになればいいなと思います。

人が良くて気取らないまち、それが葛飾の良さ



区長 私は、葛飾区をもっと元気にしたい、みんなが喜んで住めるまちにしたいという思いをずっと持っています。葛飾には、川があって、緑があつて自然の良さもあります。人の良さや人情がある、これが一番葛飾らしいところだと思っんです。こうした区のイメージをもっともつとふくらませたいです。『キャプテン翼』が仲間と一緒に成長していく姿というのは、『寅さん』や『こち亀』と同じように、葛飾区のイメージアップにもつながっていくんじゃないかと勝手に思っているんです。ぜひ、高橋先生にご協力いただきたいなと思っています。



高橋陽一さん PROFILE

1960年7月28日 生まれ。葛飾区四つ木出身。東京都立南葛飾高等学校卒業。1980年『週刊少年ジャンプ』において『キャプテン翼』でデビュー。同作は1983年にテレビアニメ化。大人気となり、サッカー少年たちに多大な影響を与えた。

高橋 僕も四つ木で生まれて四つ木小学校(現よつぎ小)、四つ木中学校そして南葛飾高校と、ずっと葛飾で暮らしてきたので、子どものころから遊び回っていた荒川のイメージな

ど、僕の漫画のいろいろな部分が葛飾の影響を受けています。葛飾には荒川、中川、江戸川があつて、川があることはすごく気分が良いなと思います。東京なのに気取ったところがなくて、下町らしい人情味のある温かいまちでもあります。今も葛飾で仕事をしているのですが、何か離れられない場所です。これからも葛飾区のために、協力させていたただきたいと思っています。

翼くんと共に、元気で夢を持って暮らせるまちへ



高橋 今年行われるサッカーワールドカップを盛り上げるために、集英社のグランドジャンプ新年号から新しく『キャプテン翼』の連載を始めます。それから、葛飾区でJリーグの試合が見られたら楽しいなと思つて、平成25年12月に大空翼の所属チームと同じ名前の「南葛SC」というサッカーチームを誕生させ、Jリーグをめざすことになりました!

区長 新連載おめでとうございます。みんな期待していると思います。「南葛SC」が、区民のチームとして育つていけるよう、みんなで応援していきたいと思っています。

高橋 はい。全力で頑張ります。のご活躍をお祈りしています。

『キャプテン翼』情報

グランドジャンプ(毎月第1・第3水曜日発売 集英社発行)新年3号(12月28日発売)から新シリーズ『キャプテン翼ライジングサン』連載開始!



『キャプテン翼展』6月開催決定!

▽JCNコアラ葛飾(地上デジタル放送)11チャンネル/1月1日(水)祝午前7時から「葛飾区新春対談(再放送あり)」
▽かつしかFM78.9MHz/1月2日(木)午前10時から「新春特別番組」

年頭に当たって

葛飾区長 青木 克徳

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、皆様から温かいご支援をいただき、区長二期目を迎えることとなりました。新しい年も区民第一、現場第一、スピード感を持った仕事、区民へのおもてなしを区政運営の基本に据えて、葛飾区の発展に全力を注いでまいります。

さて、この新年号では、各界で活躍されている葛飾にゆかりのある方々に「葛飾への想い」などをお聞きしました。今回紹介する4人の方は、いずれも葛飾の地域に誇りを感じ、とつても温かみのあるまちであるとお話をしていただきました。まさに下町人情あふれるまちの魅力そのものであり、私も大変うれしく思いました。

今後一人でも多くの区民の方が夢と希望を抱き、誇りを持って暮らせるまち葛飾を区民・事業者・区との「協働」により創りあげていきたいと思っています。結びに、本年が皆様にとりまして心豊かに安心して暮らせる年となりますことを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



金星拳げて次は三役になるぞ!

大相撲力士

千代大龍

秀政



PROFILE
1986年11月14日生まれ。小学生の時に白鳥相撲教室(葛飾区白鳥2-18-18)在籍。大道中学校卒業。日本体育大学卒業後、九重部屋(東京都墨田区)入門。平成25年11月場所11勝を挙げ、技能賞を初受賞。東前頭2枚目(平成25年12月発表)。

わんぱく相撲から始まった相撲人生

小学6年生の時に奥戸の総合スポーツセンターで開かれた「わんぱく相撲」に出場しました。1回戦で負けて帰ろうとしていたところ、白鳥相撲教室の先生に「相撲をやってみないか」と声を掛けられ、教室に通うようになりました。

白鳥公園に土俵がある白鳥相撲教室では、屋根が土俵の上にはかないので、雪が降ったら土俵はぐちゃぐちゃ、雨が降ったら滑って泥まみれだからみんなが必死に土俵際で粘って強くなったと思います。

中学校は、相撲部のある大道中学校に入りました。先輩たちはみんな強いし、僕は体が小さかったので一番弱かったです。高校に入ってから身長が伸びてきて、試合にも勝てるようになってきました。

葛飾って、歩いている人、ほんとにいい人ばかり

葛飾にいるときは、つくた煮屋の人、接骨院の人、ゆづろーど(亀有を歩いているじいちゃん、ばあちゃん

みんなほんとにいい人ばかりで、よく話し掛けてくれて、うれしかったです。葛飾は、温かい雰囲気のある良いまちですね。今度、嫁を連れて行きたいと思っています。

相撲を見に来て、ぶつかる音を聞いてほしい

勝ちか負けか、相撲は引き分けがなく真剣勝負。リアルにぶつかる音が「はっっ!」とすごいんです。言葉では言いえない迫力です。そして、個性ある化粧まわしも見ていただきたいです。僕のまわしはキン肉マンです。人それぞれ違うので面白いです。

特に、子どもたちにもっと相撲に興味を持ってもらいたいと思っています。僕は中学生まではずっと補欠で、大学に入ってから強くなった経験があるので、弱い人の気持ちになって、いいアドバイスをできると思います。少しでも僕みたい相撲を取りたいと思っている子どもたちには、ぜひ九重部屋に見学に来てほしいです。ちゃんこ鍋を食べ



インタビューの様様を放送します
JCNコアラ葛飾
(地上デジタル放送11チャンネル)
1月1日(水・祝)午後7時30分から「葛飾新春スペシャルトーク」(再放送あり)
かつしかFM(78.9MHz)
1月3日(金)午前10時から「新春特別番組」



PROFILE
1973年5月6日生まれ。葛飾区お花茶屋出身。修徳学園修徳中学校・高等学校卒業。陸上競技・十種競技の元日本チャンピオン。肉体派のアスリートタレントとして活動し、「百獣の王」をめざしている。ツイッターアカウント @sosotakai

葛飾は地球上で一番住みやすいまちじゃないかな

タレント・百獣の王 武井 壮

葛飾にはいろんな恩恵を受けたので、何か葛飾に恩返しをしたいという気持ちがあります。僕で良ければ葛飾区の親善大使とか、多少なりともお力になればと思っています。

葛飾はゆったりした、川の間の休憩場所

葛飾はどんな人でも住みやすいまちだと思います。下町葛飾というイメージのまんまの。あまり変なブレッシャーも感じないし、ゆったりとした、川の間の休憩場所みたいな、そんなやわらかいイメージがあるから、のんびり過ごすには最適。何でもアリだこのまち、人生なんでもいいんだと思えるところが良いですね。ゆるい感じで。

今年も新しいチャレンジをしたい!

平成25年はすごく充実した1年で、いろんなお仕事をいただいて、テレビ番組にもたくさん出させてもらって、武井壮という人間をいろんな人に知ってもらえた大切な1年でした。40歳という節目の年でもあったので、自分の中でも成長できた年でした。

10月にブラジルであった世界マスターズ陸上でも、その様子をテレビで放送してもらっています。



オリンピックとVリーグの目標に向かって

バレーボール選手

森谷 史佳



Vリーグ・森谷史佳はこうして誕生した!

父がバレーボールをやっていたので、小学3年生の時に、父の試合を見て行ったのがバレーボールを始めたきっかけです。両親が宝塚小の友達を集めて、小さなバレーボールチームを作ってくれました。最初は両親が監督とコーチでしたが、小学5年生の時に外部から監督を連れて来てくれて、本格的に練習を始めました。

地元共栄学園中学高等学校へ進学しましたが、高校での練習は本当に辛かったです。でも、この時期に、諦めない気持ち、強い気持ちを得ることができ、そのおかげで今の自分があると思っています。当時の恩師にも感謝しています。

選手として日々成長あるのみ

パイオニアレッドウィングスに入団した年に、V・プレミアリーグ最優秀新人賞をいただきました。平成25年4月に全日本女子チームに選ばれたのですが、合宿に入る直前にけがをしてしまい、チームから外れました。こんな時にんで、と思いましたが、チームのみんなの支えで、とにかくけがを治さなければと気持ちを切り替えることができました。



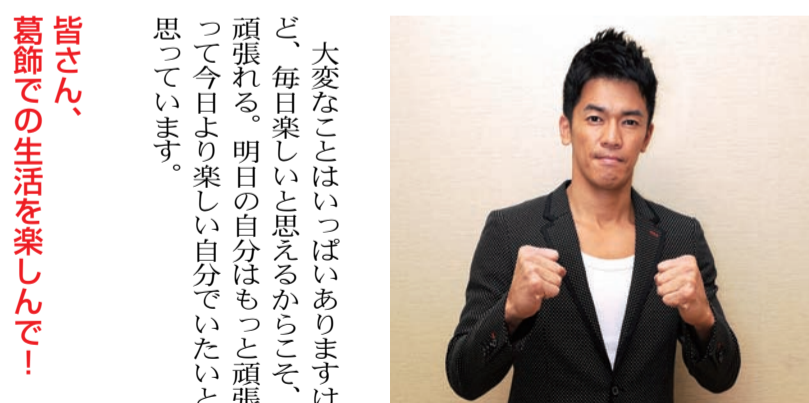
PROFILE
1992年4月7日生まれ。葛飾区宝町出身。宝塚小学校、共栄学園中学高等学校卒業。平成23年「パイオニアレッドウィングス」(山形県天童市)入団。

パイオニアレッドウィングス

「パイオニアレッドウィングス」は日本の女子バレーボールの最高位リーグ「V・プレミアリーグ」8チームのうちの1チーム。森谷さんをはじめ、パイオニアレッドウィングスとV・プレミアリーグ試合情報は<http://pioneer.jp/top/ec/sports/>でご覧になれます。



興味を持ってもらい、その子どもたちの目標になれたらいいなと思います。そして、葛飾の誇りとなるように精いっぱい頑張るので、関東で試合があるときは、ぜひ見に来てください!



大変なことはいっぱいありますけど、毎日楽しいと思えるからこそ、頑張れる。明日の自分をもっと頑張るって今日より楽しい自分になりたいと思っています。

皆さん、葛飾での生活を楽しんで!

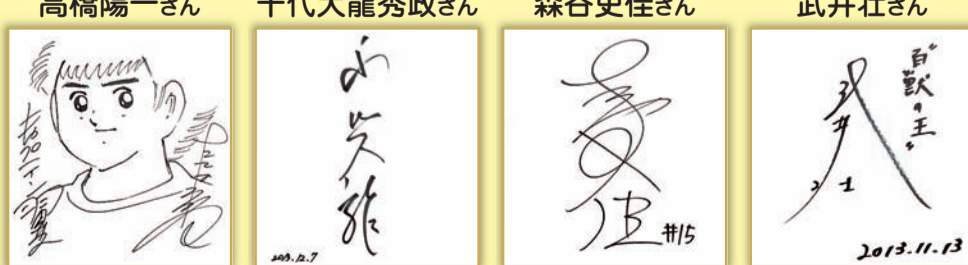
葛飾という言葉自体、自分の一部みたいに感じているところがあって、出身を聞かれたら「葛飾です」って今まで何回も言ってきたし、これまでいろんなまちで過ごしてきたけど、もしかしたら葛飾は地球上で一番住みやすいまちじゃないかな。だから、そんな葛飾で「毎日自分の人生は素敵なんだ」と思っていてほしい。葛飾区代表として出場できたなら葛飾区代表として出場できたなら百獣の王が、世界で戦う姿を見せられたらうれしいです。

明日の自分は今日よりも楽しい自分でした!

毎日新しいことに挑戦していくことが楽しいですね。

サイン色紙プレゼント

高橋陽一さん 千代大龍秀政さん 森谷史佳さん 武井壮さん



【対象】
区内在住・在勤・在学の方 各1人
【応募方法】
ハガキに希望の色紙(一つ)・住所・氏名・年齢・電話番号・広報かつしかの感想を書いて、1月20日(月)(必着)まで(多数抽選)。
【申し込み】
〒124-8555 葛飾区役所 広報課
当選者の発表は色紙の発送をもって代えさせていただきます。